

板野町の介護保険料 値上げは、過去の借金 返済が直接の原因です。

介護保険料の引き上げについて、「どうして」という疑問の声も聞かれますので、ご報告します。

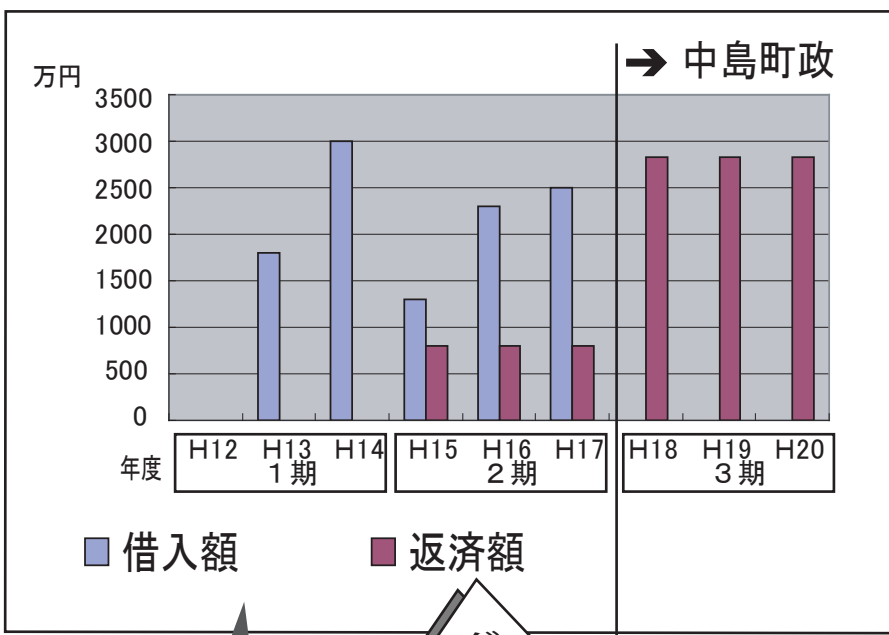
値上げの根本原因は、サービス利用者の増加。そもそも、介護保険制度では、給付費を保険料と公費(国、都道府県、市町村)の半々でまかされています。そして、保険料は三年ごとに見直し、三年間の給付を見通して設定します。

板野町は、町内や隣町にも介護保険対応の施設が多く、利用者にとって恵まれた環境です。しかし、利用が増えれば町の介護保険会計からの支出も増えます。

高齢化で年々介護認定者は増えますから、平成十八年度から三年間の給

県介護保険財政安定化基金への
各自治体の償還残高と保険料の関係

自治体	人口(A)	H17末償還残高(円)(B)	一人あたり償還金(円)(B/A)	H18-20保険料	保険料順位
小松島市	42117	424899998	10089	5680	2
板野町	14519	85000000	5854	5750	1
牟岐町	5391	29490000	5470	5170	9
上板町	13118	53300000	4063	5200	7
美波町	8725	24410000	2798	4700	12
勝浦町	6304	15000000	2379	4600	15
藍住町	32286	72987664	2261	5480	3
松茂町	14926	32415000	2172	5300	4
阿波市	41080	67015000	1631	4700	13
徳島市	267845	292826000	1093	5280	6
上勝町	1955	1300000	665	4480	18
鳴門市	63198	40002000	633	5300	5
北島町	20703	0	0	5200	8
美馬市	34575	0	0	4900	10
つるぎ町	11722	0	0	4900	11
佐那河内村	2800	0	0	4700	14
阿南市	78002	0	0	4500	16
石井町	26068	0	0	4500	17
神山町	6924	0	0	4300	19
吉野川市	45786	0	0	4293	20
那賀町	10696	0	0	3980	21
海陽町	11507	0	0	3600	22
みよし広域連合	49727	0	0	3400	23
県計	809974	1138645662	1406	4779	



板野町の
県基金からの
借入額と返済額

年度	1期			2期			3期		
	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
借入額(円)	0	18,000,000	30,000,000	13,000,000	23,000,000	25,000,000	借金は返済しつつ借入なしの財政健全化へ努力		
1期分返済額	0	0	0	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000
2期分返済額	0	0	0	0	0	0	20333333	20333333	20333333
返済額合計	0	0	0	8,000,000	8,000,000	8,000,000	28,333,333	28,333,333	28,333,333

※返済額は、下表のように各年度均等に割って返済していくきまりです。

1人あたり借入金が多い自治体は返済のため、保険料も高くせざるを得なかったことがわかります

付費は、第二期の五増と想定しています。これが、値上げの根本原因です。

しかし、必要なサービスは減らせません。国は、国庫負担を増やし公費割合を引き上げて、介護保険料の値上げを抑えるべきです。

板野町は、平成十三年以来毎年県の基金から借り入れていきます。住民一人あたりの借入額は、左表のように県下二番目に多く、その返済額が、左グラフのように、平成十八年から一気に三倍以上にふくれあがっています。

ただ、板野町が平成十八年度から大幅に引き上げざるを得なかった直接の原因は、前町政時代に借りたお金の返済です。

今回の値上げは、財政の健全化のため、平成十八年度からは新たな借金をしないことによるものです。

学校の先生方からも「困っている」と訴えが.. 子供達の教育のために、教育長選任に **議会の** 同意を



発行
日本共産党
板野支部
板野町犬伏字
大坪78-1
電話672-5875
2006/06/06
<号外>

Minpou
Itano



教育行政に問題が出たらどうするのでしょうか。

板野町の四小中学校の校長さん達が、連名で「教育長早期選任の要望」を町に提出しました。

要望書は、選任の遅れで子供達が不利益を被らないか「不安を感じる」と指摘しています。

同様の要望書は、板野郡教育長会と板野町教職員連盟会員有志からも提出されています。

住民の中からも、早く選任するべきだという声が高まっています。

子供たちのために、いきがかりをこえて議会の責任を果たしましょう。

昨年の選挙で町民は、中島町長を選びました。町民が審判を下した以上、町長の人事権を理由もなく制約しようというのは、行き過ぎではないでしょうか。

教育委員会は、町の一般行政から独立した機関であり、町長が教育長の代わりを務めることはできません。

町長がお願いしている方は、地元出身で、県の教育次長までつとめられた方です。これ以上望めないほど、町民にとって有益な人事です。これまで、人事に同意していない一部の議員さ

町長選挙が終わって九ヶ月にもなるのに、いつまでも町長選挙の延長のようなことを続けるのは、いかがなものでしょうか。教育関係者からの意見にあるように、選任の遅れにより、板野町の教育行政が停滞し問題が発生したらどうするのでしょうか。選任に同意しなかった責任が問われることとなります。

私たちも、その方の人物が問題だとは、一言もおっしゃいません。子供達の教育にかかわる問題を政争の具にするべきではありません。すでに町長も議長も、反対する議員さんたちのところへ、説得に足を運んでいます。

教育長人事に反対している議員諸氏にあらためて呼びかけます。町長選挙以来のいきがかりはいったん脇において、板野町の六月議会では、議会としての責任を果たさうではありませんか。町民の皆様にもご支援をお願いします。